

第二名神高速道路の全線早期整備に関する要望

第二名神高速道路は、近畿圏と中部圏、さらには首都圏や中国・四国圏とを結ぶことにより、これら圏域間の連携を強化し、我が国全体の国際競争力を高めるとともに、阪神・淡路大震災のような大災害などの際の名神高速道路の代替ルートとしても機能することから、国家戦略としても極めて重要な国土軸である。

しかしながら第二名神高速道路は大津市～城陽市間、及び八幡市～高槻市間が「抜本的見直し区間」に指定され、また三重県内にも未着工区間があり全線整備の見通しが立っていない。

これら名古屋～関西間の区間は我が国の東西物流の最大混雑地域であり、その整備がなされない場合には**全国の物流のボトルネック**となって、日本の産業競争力に大きな悪影響を及ぼしかねない。

第二名神高速道路がその機能を十分に発揮できるよう、ネットワークが途切れることなく、抜本的見直し区間を含めた全線が早期に完成されるよう強く要望する。

社団法人関西経済連合会会長

大阪商工会議所会頭

京都商工会議所会頭

神戸商工会議所会頭

社団法人関西経済同友会代表幹事

社団法人関西経済同友会代表幹事

関西経営者協会会長

秋山喜久

野村明雄

村田純一

水越浩士

松下正幸

森下俊三

辻井昭雄